

住職の写真日記より【令和元年9月】 胆振東部地震の発生から

9/6で1年になりました。報恩講のお付き合いをしている安平町の親戚寺院は、今年の報恩講はやむなく中止に。年内に本堂の取り壊しが決まったもののその後の再建の予定は立っていないとのことです。報恩講がつとめられることに心から感謝したいと思います。



1日 子供報恩講

幼稚園をやっている北広島の光顕寺様の報恩講では、園児たちも上手にお参り。



3日 神社祭りにて

マーティン君、巴会のご好意で神輿のそばで記念写真を撮影させてもらいました。



4日 新しくヨガ体操？

9月から第1・3水曜7時～。チラシは菜々子の友人が担当、とても上手に作ってますね。



真宗院釋顕道
白道山 淨土真宗本願寺派
開基住職



5日 手稻・真宗寺葬儀
息子さんに住職を譲ってすぐの事でした。70歳、とても温かい人柄の方で大好きなご院さんでした。



15日 洞爺湖町・徳淨寺様住職繼職法要にお参り

親戚寺院の徳淨寺様、第5代住職就任。当日はお天気もよく、大勢のご寺院住職方の出勤とお稚児さんの参加があり、賑々しい法要になりました。終了後は、遊覧船の中での祝賀会、洞爺湖ならではの事ですね。



23日 彼岸会法要に出講

今年も彼岸会中日にご法話させてもらいました。後半はいつものようにスライドを使って1年を振り返りました。

坊守の独り言

9月中旬親戚寺院の住職繼職法要にお参りさせてもらいました。（住職の写真日記参照）前住職（70代）→新住職（40代）→若院（高校2年）の3世代。開教125年の法要も合わせてお勧めされている光景を見て、千正寺と重ねあわせてみました。

現在、千正寺は開教118年。125年は7年後で息子はまだ京都で修行中。130年だと12年後、現住職が68歳、純正31歳。ちょっと早いような気もしますが、そんなことより、純正がちゃんと継いでくれるか？現住職が元気に法務を続けてられているか？お寺のご門徒さんが離れていないか？と暗いことばかり考える私。

お寺を受け継ぐのが困難になってきている時代です。

お寺の家族だけではお寺の活動は出来ません。皆さんのお一人、お一人の「手を合わせる場所はお寺」のお気持ちが、お寺を支えてくれる原動力になってくるでしょう。